

5 池袋東地域



グリーン大通りのマルシェ



1 地域の特徴

(1) 位置

区の中央部に位置する東池袋1丁目から5丁目、南池袋1、2丁目、豊島清掃工場がある上池袋2丁目の一部の区域です。北側は大塚地域と池袋本町・上池袋地域、西側は池袋西地域、南側は目白地域と雑司が谷地域、南東側は文京区に接しています。

図表5-37 区画整理前の池袋駅東口（昭和23(1948)年）



資料：写真で見る豊島区 50年のあゆみより転載

(2) 市街地の変遷

江戸時代はほとんどが雑木林と畑でした。

明治時代、現在のサンシャインシティの敷地一带に巣鴨監獄が設けられ、明治36（1903）年には日本鉄道豊島線「田端～池袋」間が開通し、池袋駅が開設されました。

大正時代になり、東上鉄道（現東武東上線）と武蔵野鉄道（現西武池袋線）が開通し、関東大震災後、多くの人々が移り住み宅地化が進みました。

昭和14（1939）年には、東京市電が護国寺から池袋まで延伸し、現在の池袋駅東口の原型が形づくられます。しかし、戦災によって地域の大半が被害を受け、昭和21（1946）年から戦災復興土地区画整理事業が実施されました。

昭和29（1954）年に営団地下鉄丸ノ内線（現東京メトロ丸ノ内線）「池袋～御茶ノ水」間が開通し、昭和35（1960）年には新宿や渋谷とともに「副都心」に位置づけられます。その後、昭和49（1974）年に営団地下鉄有楽町線（現東京メトロ有楽町線）が開通し、昭和53（1978）年には東京拘置所跡地再開発により、サンシャインシティが建設されるなど、交通網の発達とともに商業業務機能の集積が進みました。

平成20（2008）年に東京メトロ副都心線が開通し、平成25（2013）年には東武東上線、西武池袋線・有楽町線、東京メトロ副都心線・有楽町線、東急東横線及び横浜高速みなとみらい線の相互直通運転が開始されました。また、平成19（2007）年にはライズシティ池袋、平成23（2011）年にはアウルタワーが建設されるなど都市機能の更新が進んでいます。

図表5-38 サンシャインシティ



平成27（2015）年には、豊島区本庁舎と業務、商業、住宅が一体となった「としまエコミューゼタウン」が竣工しました。旧庁舎跡地には、令和2（2020）年に8つの劇場を備える複合商業施設「Hareza池袋」が開業し、新たな変化を遂げています。

（3）主な景観要素

①地形・自然

- グリーン大通りは、クスノキやケヤキなどの樹種豊かな並木が形成されています。
- 南池袋公園や中池袋公園、東池袋中央公園は、貴重なみどりと憩いの空間となっています。
- 豊島の森（豊島区本庁舎の屋上庭園）は、かつての豊島区の植生や生態などを再現した学びと憩いの場となっています。

②歴史・文化

- 豊島区本庁舎やあうるすぽっと、Hareza池袋、サンシャイン劇場、シアターグリーンなど数多くの文化芸術施設が集積しています。
- 南池袋公園周辺には、江戸時代の元和4（1618）年に創立された本立寺をはじめとした寺院が集積し、池袋副都心でありながら落ち着いた雰囲気となっています。
- サンシャインシティは、60階展望台や古代オリエント博物館、水族館などの多様な施設があり、国内外から多くの観光客が訪れています。

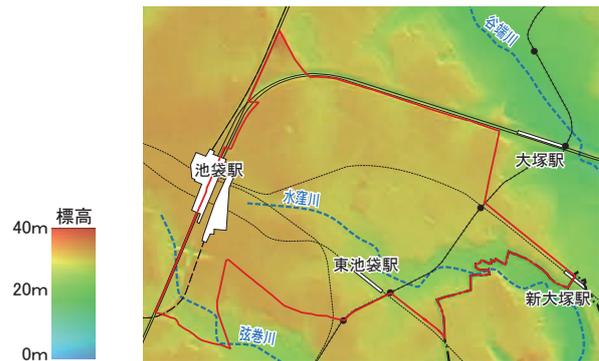
③まち・界隈

- 池袋駅周辺は、池袋副都心の核として、商業機能を中心に多様な都市機能が集積しています。
- グリーン大通りやサンシャイン60通りなどは、多くの若い世代の人々が訪れています。
- 池袋駅を中心とする商業業務地を囲むように住宅地が広がっています。
- 多くの人々が乗り換える池袋駅や池袋大橋からの電車が行き交う眺めなど、鉄道とともに発展してきた歴史があります。
- 豊島区本庁舎に続き、旧庁舎跡地（Hareza池袋）や造幣局跡地（イケ・サンパーク）など、池袋副都心の再生を牽引する都市整備プロジェクトが実現しています。
- 都電荒川線が併走する環状5の1号線と補助81号線の整備が進められています。

④人々が織りなすまちづくり

- 旧庁舎跡地周辺はHareza池袋として再整備され、エリアマネジメント組織⁴⁴により地域の賑わいに関する事業が行われています。
- グリーン大通りでは、エリアマネジメント組織が国家戦略道路占用事業の計画認定を受け、地域の賑わいに関する事業を行っています。

図表5-39 池袋東地域の等高線



資料：基盤地図情報数値標高モデル(国土地理院)をもとに作成

図表 5-40 豊島区本庁舎



44 エリアマネジメント：41ページ参照

2 景観まちづくりの視点

- 新たな文化とにぎわいを創造する舞台にふさわしく、国内外の人々がまちを楽しめる景観形成が必要です。
- 造幣局跡地の防災公園（としまみどりの防災公園）やグリーン大通り、まちづくりにあわせて創出されるみどりなどを生かして、潤いの広がる街並みの形成が必要です。
- 多様な表情を持った地区の個性を惹き立て、調和しながら魅力を発揮する景観の創出が必要です。

3 景観まちづくり方針

1 ゆとりと潤いを創出する

- 造幣局移転後の跡地は、平常時に人々の交流を育み、憩いの空間となる防災公園を整備します。
- グリーン大通りは、人々が四季の彩りとにぎわいを感じながら、楽しく憩える街並みづくりに重点的に取り組みます。
- 南池袋公園や中池袋公園、東池袋中央公園などのみどりを生かして、潤いの広がる景観形成を進めます。

図表 5-41
グリーン大通り（五差路付近）



2 歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する

- 文化芸術拠点である Hareza 池袋、あうるすぽっと、豊島区本庁舎のネットワークを強化し、人々の回遊性を高めます。
- 旧庁舎跡地に完成した Hareza 池袋では、8つの劇場やオフィス棟を含む商業複合施設、としま区民センター、隣接する中池袋公園・周辺道路が一体となった景観を創出し、池袋副都心の再生を牽引する新たな文化にぎわい拠点を形成します。
- 諸外国の料理が楽しめる飲食店や国外から訪れる人々が宿泊する施設などの集積を生かし、多文化が共生してにぎわう街並みをめざします。
- グリーン大通りと南池袋公園周辺では、屋外の公共空間を生かした新たな文化とにぎわいの舞台として、人々が楽しめる街並みをめざします。
- 南池袋公園周辺では、寺院が立地する落ち着いた雰囲気を生かした街並みを形成します。

図表 5-42
中池袋公園と一体となった Hareza 池袋



図表 5-43
南池袋公園に近接する本立寺



3 人々の生活・営みを映す

- 池袋駅周辺は、首都機能の一翼を担う拠点として、国内外の人々に選ばれる風格を備えた景観を形成します。
- 東池袋駅周辺は、豊島区本庁舎や新たなまちづくりが進む池袋副都心の核として、人々でにぎわう景観をめざします。
- 新しい文化の創造や懐かしい昭和の面影、みどりの潤いなど個性ある界隈の魅力を生かして、人々が多様性を楽しめる景観をめざします。

4 地域の特性を惹き立てる

- 環状5の1号線は、みどりの潤いを感じられる安全で快適な歩行者空間を形成します。
- 造幣局移転後に整備される防災と文化、交流機能を備えた拠点を中心に、池袋副都心と大塚、雑司が谷を結ぶ、新たな人の流れを生み出します。
- 都電の走る姿を惹き立てるため、街中の彩りや車窓からの眺めを意識した景観形成をめざします。
- 東池袋4、5丁目は、みどりの潤いを感じられる安全で快適な街並みを形成します。

5 個性ある街並みを創出し、楽しめる仕組みを構築する

- 池袋東地域で活動している各エリアマネジメント組織や、地域の商店街等と連携し、新たな文化とにぎわいを生み出す景観まちづくりに取り組みます。

図表5-44 サンシャイン60通り



図表 5-45 池袋駅東口



図表 5-46 フラワーフェスティバル



図表 5-47 池袋東地域の景観まちづくり方針図



明治42(1909)年の市街地の様子



出典：豊島区地域地図第四集 2011、豊島区史跡めぐり

凡例

	ゆとりと潤いを創造する		鉄道駅周辺
	歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する		みどりの骨格軸
	人々の生活・営みを映す		みどりの回廊(幹線道路)
	地域の特性を惹き立てる		坂
	個性ある街並みを創造し、 楽しめる仕組みを構築する (全域)		文化資源
	寺社		新たな文化拠点
	花の名所		旧道
	大学		旧河川
	教育施設		神田川
	祭り		公園など
			みどりの回廊(街路樹)
			鉄道(JR)
			鉄道(東武・西武)
			都電
			都市計画道路未着手区間